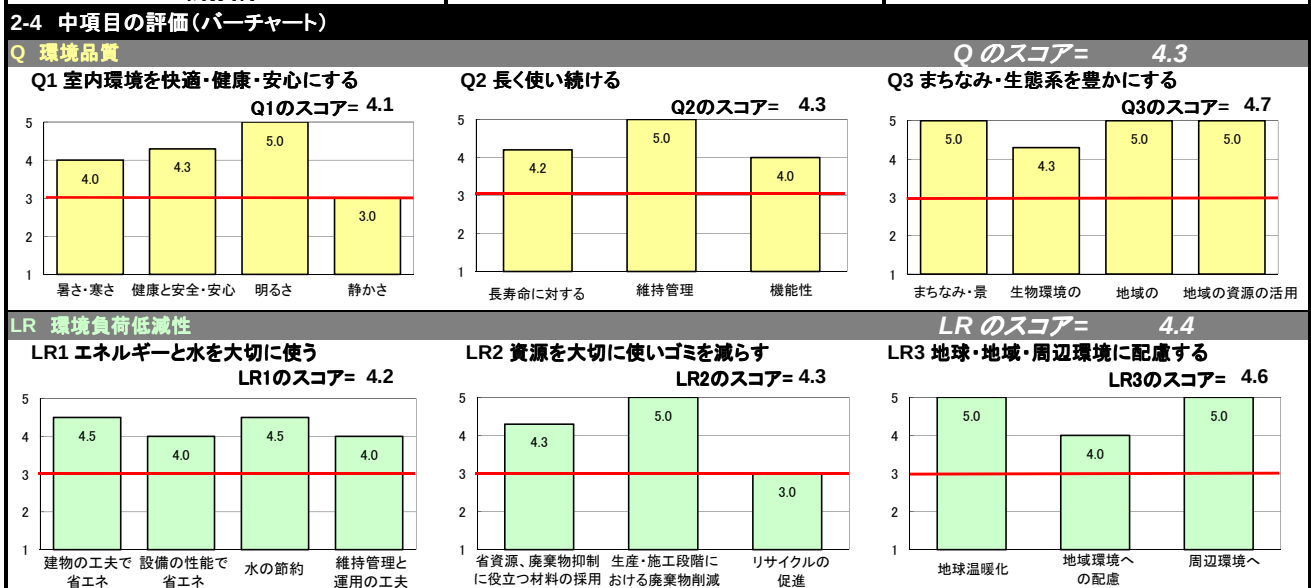
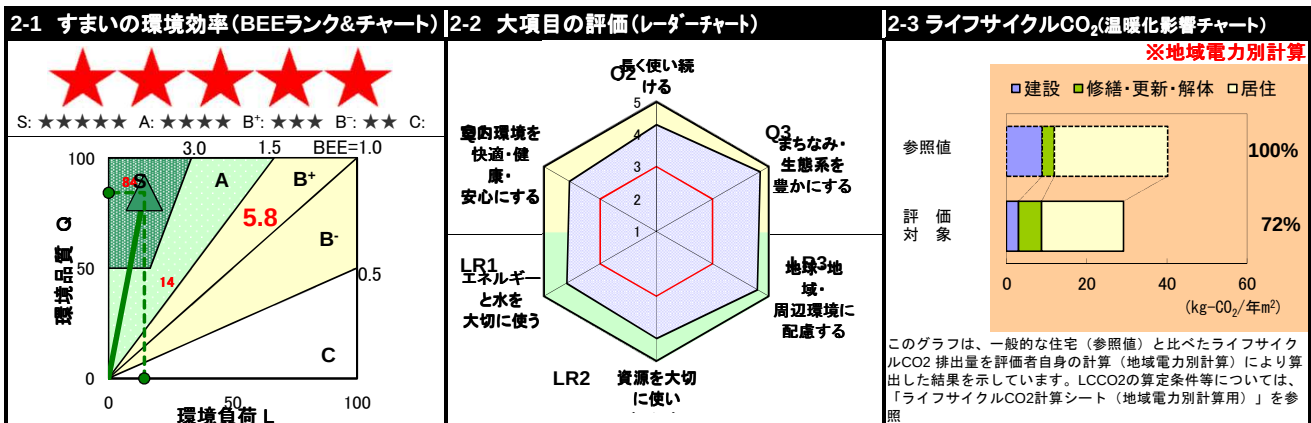


CASBEETM すまい[戸建] 評価結果

■使用評価マニュアルCASBEE-すまい(戸建) (2007年版) ■使用評価ソフト: ISBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要			1-2 外 観		
建物名称	三輪の家		仕様等の確定状況	建物の仕様 持ち込み家電等 外構の仕様	確定 仮 確定
竣工年月	2010年11月	予定			
建設地	長野県長野市				
用途地域 第2種中高層住居専用地域 第2種省エネキ-地域区分	III	確定	工事契約後、着工前評価		
構造・工法	木造・在来工法	確定			
階数	地上2F		評価の実施日 2010年5月16日 作成者 緑川直彦 確認日 2010年5月16日 確認者 緑川直彦		
敷地面積	336 m ²	確定			
建築面積	81 m ²	確定			
延床面積	124 m ²	確定			
世帯人数	4	確定			



3 設計上の配慮事項		その他
総合 敷地は市街地ながら、比較的、建て混んでいない住宅地。この住宅は、省エネと暮らしやすさを重視して、広縁を設け主室を南面させた民家的な構成とした。外観はおとなしい切り妻の屋根。これを県産材を使った現しの架構で組み上げている。更に性能の良い開口部、厚い断熱材を使うなどの工夫で高い環境性能を持たせた。長期優良住宅の認定も取得している。加えて、四季折々の風情が生まれるであろう、二つの庭を設け、人や暮らしに長く寄り添う住まいとなることを期待している。		
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする 自然エネルギー活用・快適性向上のため次世代基準 I 地域程度の断熱性能を確保。Low-Eガラス樹脂サッシ、外壁は高性能GW充填断熱+外張りGW(付加断熱)。室温安定化のため基礎は外周を断熱。ドリーク窓で施錠しつつ通風できるよう安全面	Q2 長く使い続ける 長期優良住宅として認定を受けている。総2階の単純な架構を基本とし、1階の続き間の和室を中心に据えて暮らし方の変化や間取り変更への対応を容易にした。軒は大きく出して外壁を保護。外壁通気工法とし、壁裏換気と連続させ湿気の排出を	Q3 まちなみ・生態系を豊かにする 道路からは建物が小振りで控め込みに見えるようにした。植栽や板敷を重ね、狭いながら奥行きのあるアプローチの前庭。北隣のマンションの植栽帯と連続させて、町並みの形成と調和に役立てたい。また主庭も道から見通しを効かせて防犯性
LR1 エネルギーと水を大切に使う 建築そのもののデザインでハットに自然エネルギーを活かすことにした。大きな南面開口で冬季は集熱。和室は障子を使って開口部の断熱を強化。軒を十分に出して夏は日射を遮る。通風の確保、小屋裏断熱の強化などの工夫で冷房負荷を減らした。基礎外周部を断熱して建物の熱容量を増やすのも、室温の安定に	LR2 資源を大切に使いゴミを減らす 周囲との調和、階の昇降や暖房など生活エネルギーの低減、建築資材削減を目的として建物高さを抑制した。また単純な総2階で外壁面積を小さくしている。1階の天井を兼ねた2階床は間伐材から作られたスギとヒノキの三層合板を張りっ放して仕上げに。下地や天井を省略して手間や資材を減らしている。主構造材は県	LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する 出来るだけ、県産材やリサイクル材を使うことや、建物の断熱性能を高めることでLCO2の削減につなげていきたい。また、庭や周囲とのつながりがある計画にしたり、植栽など庭の整備を進めたりすることで、心豊かな暮らしを支えつつ、周辺環境を良くしていく住宅でありたい。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency (建築物総合環境性能評価システム)